



『QCサークル』誌 2025 年 10 月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p.2～

愛知製鋼㈱ 代表取締役会長 藤岡 高広 さん

自分の持ち場、自分が手がけたモノが後工程でどのように使われるのか、後工程のお客様の笑顔にどう関係しているのかを、つねに意識し仕事をしてくださいということですね、そのためには自工程で達成する良品条件の品質項目を明確にし、その達成条件や守るべき判断基準をきちんと定める。そして生産の手順を標準化し、教育・訓練もしっかり行う仕組みが必要となり、当社でもこの自工程完結を全社的に推進しています。そして、その考え方は QC サークル活動でも活かしていこうということです。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.5～

トヨタ自動車東日本㈱ 本社・宮城大衡工場

トヨタ自動車東日本は、東日本大震災翌年の 2012 年に誕生、東北復興の一助となる使命のもと、企画・開発から生産までの一貫した取り組みを進め、魅力あるコンパクトカーを生み出しつづけてきました。今回は中核となる本社・大衡工場を訪ね、お話を聞きました。全社を挙げて地道に現場改善力を高めていこうとする同社の姿勢が伝わってくる推進者の工夫、いつかは QC サークル全国大会で発表したいという目標を胸に積極的に改善に取り組む QC サークルの活動をお聞きし、その目標を果たすことはそう遠くないであろうと感じられます。

★特集：リーダーをやってよかったです！ ～苦勞の克服法とその先にある成長～

p.9～（サークル、改善）

サークル活動を行っている「会合の時間が取れない」、「テーマが予定通りに進まない」、「メンバーがついてこない」など、様々な障害や困難が立ちふさがって、サークル運営をささげられます。その壁を乗り越える苦勞を経験し、運営をまっとうにした多くのサークルリーダーがいます。そして、その経験が後の活動に活かされ成長しています。

リーダーが陥りやすい課題や悩みに答える／障害や困難をどのように乗り越えたか／リーダーで得られた経験がどんなことに役立っているのか、サークルリーダーの経験を紹介しています。

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p.23～（管理者／事務局、運営／推進）

第 10 回 管理者だって、たまには言わせてよ

ご好評いただいた推進事務局の覆面座談会につづき、今月は管理者の方に集まっていただき、本音を語っていただきました。管理者は身近で QC サークル活動の指導・支援に尽力されている方で、どちらかといえば地味な役回りです。今回は、管理者として日頃考えていること、悩み、サークルとのかかわり方の工夫などを語っていただきました。何のために管理者は QC サークル活動を推進するのか？ それを見ていくことにつながっていきます。

★サークル Q&A ただいま出勤 QC サークル 119 番～あなたの困りごとに寄り添います～

p.30～

カルテ 195

今回は、急な退職者の仕事を他のメンバーが分担するというお話です。口頭・文書での引き継ぎがなく退職者の仕事を経験したメンバーもいない中で対応に苦慮しています。よくあることですが、退職者の仕事が属人化していたためでしょう。今後、同じことが起こらないため、どうすべきでしょうか。その方法を見ていきましょう。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例 2 件、ワンポイント事例 1 件を紹介します。

体験事例：p.36～

1.（サークル、製造、改善）

例 豊田自動織機 トヨタ L&F カンパニー 「ウルトラマンサークル」

「～異常は 3 分以内にやっつけろ～No.2 組立ライン脱荷装置ハンガー開き不良の撲滅」

2.（サークル、医療・福祉、改善）

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 「貼り替えない化現象サークル」

「検体バーコードラベル貼り直し件数の低減」

3. (サークル, 製造, 改善)

㈸デンソー 幸田製作所 「チャンスサークル」
「カンコツを8つの視点から標準化した事例」

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P.44～ (サークル, 運営/推進)

第10回 活動の振り返り・反省の仕方の工夫

本ページは、『QC サークル活動運営の基本』(QC サークル本部編)に書かれているような基本的な事項を一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル, 活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに, 運営について体系的に学んでもらうことがねらいです。今月は, サークル活動を行う中で振り返り・反省を繰り返し, PDCA を回していく工夫を紹介しています。

★私たちの活動を紹介します! <JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.46～ (医療・福祉)

カヤバ㈸ 相模工場 Team アデランテサークル

サークルに改善の背景や内容を, 推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。今月は, コロナ禍を契機に, 従来の郵便物を「配る」ことが懸念されるようになったことから, サービスの向上と効率化, 生産性向上をめざし IT 活用を進めた改善を紹介しました。幅広い業種・多くの職場で参考にできる取組みであり, 情報の即時性やセキュリティの向上にとどまらず, この活動から業務の IT 化を段階的に進めることの重要性・現場の声を反映した改善姿勢の大切さをうかがえます。

★私たちの活動を紹介します! ー海外企業の取組みー

P.48～

今月号では番外編として, 産業用照明設備, 照明とインテリジェント制御システム, 各種サービス製品の開発・生産・販売を手がける龍谷の海洋王社での QC サークル活動を紹介しています。推進状況や, 日本で開催される QC サークル大会での発表を行うなど, 積極的な活動姿勢, サークルの考えなどをぜひ参考にしてください。

★QC検定道場

P.50～ (サークル, 一般者(標準))

第10回 管理図

今月号は, 2024年3月に実施された第37回と2022年9月に実施された第34回品質管理検定(QC 検定)の3級問題を取り上げ, 管理図を解説しています。管理図は毎回出題されている項目であり, QC 検定受検をめざす方には勉強を欠かせません。過去の本連載の解説も参考にしながら, しっかりと学習に取り組んでください。

★連載講座:「QC 的ものの見方・考え方」の基礎に学ぶ

p.54～ (サークル, 一般者(標準))

第4回 「手段に関する考え方-2」について

この連載では, 7月号から12月号まで6回にわたり, 「QC 的ものの見方・考え方」という QC の基礎的内容について, 読者のみなさんとともに勉強していきます。

第4回では, 「PDCA サイクル」, 「再発防止」, 「未然防止」, 「潜在トラブルの顕在化」という考え方について, 身近な事例を挙げながら解説していきます。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか?

会社や自社製品の PR の場として, ぜひご検討ください!

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail : editoqcc@juse.or.jp

